

発行日 2010年1月5日

## 明けましておめでとうございます

インストラクター2人には、至らないところもまだまだたくさんありますが、受講生の皆様に今年もたくさんパソコンを楽しんでいただけるよう頑張ります。

さてさて、今年最初にカウンターを飾るのは、教室に来られるすべての方たちと教室に福が舞い込めますよとの思いを込めて「宝船」と「門松」です。



## パソコンが故障！！

自宅で使っているノートパソコンが年末に突然調子が悪くなりました。

急に動作が遅くなり、電源を入れてログインするまでに20分以上、ログインしてから使える状態になるまでにまた40分ぐらいかかるようになってしまったのです。

何か新たにソフトをインストールしたわけでもないし、落としたりぶついたりもしていません。ハードディスクをチェックするプログラムを実行すると、確かにエラーが出ています。しかも交換するしかない致命的なエラーです。

ハードディスクを交換するのはいいのですが、困ったのがパソコンの中にしかないデジカメ写真のバックアップです。ハードディスクはまだ何とか動いてくれるものの動作が非常に遅く、頻繁に起きるエラーと戦いながら、夕方から朝までかかってやっとこさっと必要な写真の救出をしました。これからはまめにバックアップしておかなければと痛感しました。

日頃「バックアップを取っていないと大変な目にあいますよ。」と言っているのに、自分は出来ていなかったのがバレちゃいましたね(^^):

デスクトップパソコンのハードディスク交換は何度かしたことがありましたが、ノートパソコンは今回が初めてです。デスクトップパソコンよりも簡単で楽に作業が出来ました。交換時間はわずかに5分ほどですが、OSと必要なソフトウェアのインストールやWindows Updateをして、パソコンが使えるようになるまで5～6時間かかりました。あ～疲れた(:-\_-) =3 フゥ

## しおん文庫から今月のお薦め

今月のオススメはこの2冊です。

『私が捜した少年』(二階堂黎人著)

「渋柿信介、独身。ライセンスを持たない私立探偵。日常のしがらみに追われながらも、鋭敏な頭脳と大胆な行動力とで、次々に舞い込む事件を解決へと導く。(後略)」Book データより抜粋。

『私が捜した少年』はハードボイルド・ミステリーが五編収録されています。ネタバレになるので詳しくは書けませんが、ハードボイルドでありながらほのぼのしています。語り口がハードボイルドですが、実はとても微笑ましい光景が描写されていたりします。ハードボイルドは全然読まない人でも面白く読めます。

『異国の花守』(波津彬子著)

これはコミックス文庫です。そうです、漫画です。

この本は、金沢に住む森岡雛子という日本人女性とアレックスという英国人男性を中心に、描かれる心がほっこり暖まるお話が七編収録されています。

波津先生の絵は決して上手ではありませんが、お話がとても良いのです。

優しい線で描かれている絵とお話について引き込まれてしまいます。

個人的には、「もっと絵が上手になれば良いのになあ」と思いながらも、波津先生の作り出す世界がとても好きなので、新刊を見れば購入してしまいます。

